

念願の岡山県郷土伝統的工芸品・手織作州絣製造者を7名認定

作州絣保存会

活動の目的

作州絣の保存と伝統的技術の伝承、そして、後継者育成を図り、郷土工芸特産品としての振興を図るとともに、地域活性化に貢献することを目的とする。 <作州絣保存会規約H25 9月 第2条>

活動の内容及び経過

【主だった活動の内容及び経過】

<2020年> ■ 4/26 緊急事態宣言講座・工芸館休業に入 ■ 5/11緊急事態宣言工芸館短縮営業10～15時 ■ 6/6 作州絣織り人養成講座再開 ■ 7/21岡山県PRキャンペーン隊撮影（綿くり、糸紡ぎ、講話）市観光課 ■ 7/22 美術大学、体験（綿くり、糸紡ぎ、講話） ■ 8/6 城西伝統的建造物群保存地区説明会 城西公民館 ■ 9/16オンライン「インバウンド検討会議」津山市 ■ 9/16津山市・中国運輸局リモート会議 市役所 ■ 9/28インバウンド向け体験活動プログラム開発セミナー市役所 ■ 10/2 津山の魅力再発見（津山市教育振興事業） ■ 11/28高梁市松原、玉川、福地小学校 作州絣工芸館 ■ 10/7 地元の工芸撮影 Discover Tsuyamas 主催 ■ 10/13商業高校「総合探究事業」 ■ 11/30インバウンド向け体験活動プログラム開発セミナー美術県民局 ■ 11/28 西小学校体験学習講話・体験・手つむぎ糸コースター作り <2021> ■ 2/23手織作州絣製造者認定式

活動の成果・効果

- コロナの影響で、今まで定番だった行事がほとんど中止になったにも拘わらず、じゃらん、山陽新聞旅行社、まちプラ岡山（下電観光）等からお問合せがあり、できる範囲でコロナ対策を十分にしながら受け入れた。
- 保存会運営の作州絣工芸館地域が国の重伝建の指定を受け、その企画に城西まちづくり協議会より是非参加して欲しいと依頼があった。こちらで活動を始めて丸10年、町内会費を払いながら今まで地域のイベントに積極的に参加し溶け込んで頑張ってきたからこそだと思う。また、城西地区で認められた証ではないかと思っている。
- 保存会の津山市における活動が、定番化してきた<今年度も予定依頼>。①小学校・中学校への実演体験及び社会体験、生涯学習の一環として大人の勉強会など ②高等学校からの出前実演、講演依頼、また、作州絣を着ての地域の散策 ③保育園 幼稚園での棉植え、棉摘み (※) コロナの感染状況によって変動あり

今後の課題と問題点

- ①作州絣工芸館の運営は、保存会会員の会費および作州



インバウンドでのお客様



糸紡ぎ



津山の観光と物産展に参加



中銀久米支店体験

絣工芸館での小物販売、体験料、講演料、販売依頼などの収益、そして、福武さんの助成金で成り立っている。しかし、コロナ禍の中、終息が見えない現在、収入減はどうすることもできません。なんとか、今までのストックを切り崩しながらやりくりしているのが現状。

- ②運営において、一番のネックは、作州絣工芸館維持の経費。電気、水道、家賃、ネット使用料。現在、家主さんの理解の元、安い家賃で貸して頂いている、しかし、1年後には値上げになる予定。保存会会員においてボランティアで行っているのも限界がある。
- ③機織り全行程を見せるにおいて、大切な行程の染色の実演をお見せする設備がない。

- 代表者：日名川茂美 ● 所在地：津山市西今町
- TEL：0868-23-0811 ● E-MAIL：sakusyu@mx1.tvt.ne.jp
- URL：http://plus.harenet.ne.jp/~kasuri/
- 設立年：2010年 ● メンバー数：46名